

香壇で祈ることは、軍隊を編成し、地上での神の行動のために戦うためである

聖書：出30:1-16. 歴代下16:9. ヘブル7:25. 啓8:3-5. エペソ4:13. 6:10-12

I. 神は全能ですが、彼の全能であることは制限を受けます。なぜなら神は、彼の働きに適合する条件を持たなければならないからです——歴代下16:9：

A. わたしたちは、主に光を与えていただいて、彼が行なうことができることを見て、彼が行なうのをわたしたちが妨げ得ることを見る必要があります——イザヤ50:2. エレミヤ32:17, 27. マタイ19:26. ルカ1:37：

1. わたしたちは神をある地位に置いて、彼が行ないたいことをできないようにすることがあり得ます——イザヤ50:2. マタイ13:22-23. 23:37-38. マルコ6:5. ヘブル3:11-12. 4:2。

2. 今日、神の力はわたしたちの度量に制限され、わたしたちの意志、服従、従順、信仰の支配を受けます——マタイ17:19-20. マルコ11:23-24。

3. 主はわたしたちを、ご自身に完全に反応する場所にもたらさなければなりません。それは、彼が自由に妨げのない道を持ち、行ないたいことは何であれ行なうことができるためです——コロサイ3:1-3. Iヨハネ5:14-15。

B. 王国が意味するのは、神が欲するのを行なうことができること、彼がご自身の道を持つこと、彼が妨げられないこと、彼が権威、力、栄光を持つことです。王国時代に真実なことは、今日、召会においても真実であるべきです——マタイ6:9-10。

C. キリストのからだは彼の表現となるか、あるいは彼の制限となる可能性があります——エペソ1:22-23. 3:19：

1. わたしたちは用いられて彼を表現するか、あるいは彼を制限しているかです。わたしたちがいる地位は、キリストに完全な表現を与えるか、あるいは彼の表現を制限するかです。

2. 主は彼のからだの肢体たちが、彼に完全に応答し、彼らにおいて、彼のみこころに対する制限を取り除くことを望んでいます——マタイ6:9-10。

D. わたしたちは、わたしたちの責任がいかに大きいかを認識する必要があり、わたしたちの目が開かれて神の制限を見、いかに彼と協力すべきか

を見る必要があります。

II. 香壇は、とりなす方としてのキリストを表徴します——ヘブル7:25. ローマ8:34 :

- A. わたしたちはキリストのとりなす生活にあずかる必要があります——26-27節. I テモテ2:1. エペソ6:18-19. コロサイ4:3. I テサロニケ5:25. II テサロニケ3:1. ヘブル13:18。
- B. キリストのとりなす生活、彼の祈りの生活は、神聖な行政の中心です——7:25. ローマ8:34. 啓8:3 :
1. 香壇は、宇宙における神の働きの中心です :
 - a. キリストの祈りの生活は、神が地上で彼の統治を執行する中心です——ヘブル7:25. ローマ8:34。
 - b. 神の行政の執行は、香壇から神にささげられた祈りによって推し進められます——啓8:3-5。
 - c. 香壇でささげられた祈りは宇宙を支配します。
 2. 啓示録第8章は、香壇が神の行政の御座となり、神が彼の行政において裁きを執行している絵です。
- C. 復活と昇天の後、個人のキリストは団体のキリストになりました。こうして、神の御前で今日、個人のキリストがとりなしているだけでなく、団体のキリスト、すなわち、かしらとからだもとりなしています——I コリント12:12. 使徒12:5, 12 :
1. キリストの肢体として、またからだ・キリストの一部として、わたしたちはキリストのとりなしの務めにおいて彼と協力し、わたしたちのとりなしの祈りの中で、彼のとりなしを実現します——ローマ8:34, 26-27。
 2. わたしたちは、神聖な行政の中心としての香壇に到達するとき、とりなす者となって、他の人のために、また主の権益のためにとりなします。
 3. わたしたちは、香壇の明確な展望を持つなら、神の行動のために、神の定められた御旨の執行のために、主の回復のために、神聖な行政の実施のために、神聖な分与のために祈ります。このような祈りは神の定められた御旨を成就し、神の心を喜ばせます——I テモテ2:1. ローマ8:26-27。

III. 出エジプト記第30章1節から16節における香壇と、罪を覆う銀との関係の霊的な意義とは、わたしたちが香壇で祈ることが、軍隊を編成し、地上での神の行動のために戦うためであるということです :

- A. 幕屋は、地上での行動のための、神の選びの民の中に具体化された神を表徴します。幕屋とそれに関するあらゆるものは、神の行動のためです——25:8-9：
1. 香壇での祈りは、神の行動のためです。神の行動に反対するすべての敵のゆえに、神は戦うことによって行動します——民10:35。
 2. 特に、神の民は軍隊を編成して祈り、地上での神の行動のために戦い、彼の定められた御旨を完成する必要があります——エペソ6:10-12。
 3. このとりなしの祈りの結果は、神の民を数えて、軍隊を編成し、神の行動に反対する神の敵、すなわち、良き地にいた住民によって予表される天上の支配者たちや権威者たちと戦うことです——出30:11-16. 23:23. エペソ6:12。
 4. 神はそのような軍隊を持つとき、地上で彼の権益のために行動することができます。
- B. 軍隊にいる資格のある男子の年齢の霊的な意義は、わたしたちが軍隊において神の行動のために戦おうとするなら、円熟する必要があるということです——出30:14. ヘブル5:14-6:1. ピリピ3:15. Iコリント2:6：
1. 香壇でささげられるとりなしは、信者たちが成長し円熟して、軍隊が編成されることができるためです——エペソ4:13. 6:10-12。
 2. わたしたちは香壇で祈れば祈るほど、円熟の必要が切迫していることをますます認識し、命において成長して円熟へと至るために祈る緊急性はますます大きくなります——Iコリント2:6. 3:1-2. 14:20. 16:13. ヘブル5:14-6:1. エペソ3:16。
 3. そのような軍隊が編成されてはじめて、神は彼の定められた御旨のために地上で行動することができます。円熟した者たちで編成された軍隊がないなら、神が行動する道はありません——4:13. 6:10-12。
- C. 罪を覆う銀の予表によれば、わたしたちがそれによって戦うキリストは昇天のキリスト、天におけるキリストです——1:20-23. 出30:12-13：
1. 挙げるささげ物としての半シケルが予表するのは、神の民が経験し、罪を覆う銀として彼らがささげた昇天のキリストです——13節. エペソ1:21. 4:10. ヘブル4:14. 7:26. 8:1。
 2. 霊の戦いをするために、わたしたちのキリストに対する経験は最高点に、すなわち、彼と共に天上で座しており、自分自身の中ではなく、昇天のキリストの中で戦っている点に到達しなければなりません——エペソ1:20-21. 2:6. 6:10-12. 雅4:8。

©2012 *Living Stream Ministry*